学校経営方針

１．学校経営方針

本校の学校教育目標は，「自他の生命・人権・人格を尊重してほしい，自分を大切に，仲間を大切にして，希望を持って日々を過ごしてほしい，一人ひとりが自ら考え判断しながら，個性を開花させ，未来を生き抜くための力を身につけ，心豊かな優しさあふれる人に育ってほしい」という願いを込めている。『夢育む「ふるさと春風」の創造』を合言葉に，家庭や地域との連携・協力をよりいっそう深めながら，特色ある学校づくり，保護者・地域に開かれた学校づくりを積極的に推進するとともに教職員相互の研鑽をさらに深め，創造的な教育活動を展開したい。

２．学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に，心豊かに，未来を生き抜く，優しさあふれる春風っ子を育てる

３．めざす学校像・教師像，春風の子供像

夢育む「ふるさと春風」の創造

めざす学校像
- ○ 夢を育む学校
- ○ 優しい学校
- ○ 安全で美しい学校

めざす教師像
- ○ 向上心を持ち自己を高める教師
- ○ 子供とともにある温かい教師
- ○ 認め合い支え合う教師集団

めざす春風の子供像
- ○ 自ら考え行動できる子
- ○ 思いやりのある子
- ○ 健康でたくましい子

４．学校経営の重点

（1）夢を育む学校

○　豊かな心や生きる力を育む教育の推進

・道徳教育や人権教育を中心に，実践力のある豊かな心を育む。

・体験活動を通して，感動体験を増やし，生きる力を育む。

・児童会活動，異学年交流，など児童の主体性を育む特別活動の充実を図る。

・系統的，計画的に「キャリア教育」を推進する。

○　学ぶ意欲・学ぶ喜び・わかる楽しさが実感できる授業の創造

・「つながりあって伸びる」の研究テーマのもと，創意工夫のある授業を実践する。

・「何を学ぶか」に加え，「どのように学ぶのか」という学びの質や深まりを重視し，主体的・対話的で深い学びの手法を取り入れた授業を展開する。

・「基礎的な知識・技能」と「思考力，判断力，表現力」のバランスがとれた授業を行う。

・春風タイムを活用し，基礎学力の定着を図る。また，少人数指導の充実を図る。

・カリキュラム・マネジメントに取り組み，教育活動の質の向上に取り組む。

○　学校図書館や情報機器の整備と活用

・学校図書館を有効活用し，読書活動を推進する。

・学校図書館や各種情報機器の整備・充実を図る。

・児童に配布されたタブレットＰＣを有効活用し，プログラミング教育を含めた、情報教育を計画的に推進する。

（2）優しい学校

○　人権の尊重，生命の尊厳，共生の視点に立った教育実践

・全ての子供が楽しく学校に通える学校を目指す。

・インクルーシブ教育の視点に立ち，子供に寄り添い，子供の心に響く指導を心がける。

・自他の生命・人権・人格を大切にする心を育成する道徳教育や人権教育を推進する。

・多様な価値観を認め合い，多文化共生社会の実現に貢献できる心豊かな児童の育成を図る教育を推進する。

○　学年・学級経営の充実

・子供一人一人に向き合い，児童が安心して生活できる温かい学級経営を展開する。

・開かれた学級・学年経営を推進する。

・教職員の同僚性を高め，個々の課題を共有し，健全な児童の育成に組織的に取り組む。

○　児童理解に基づいた生活指導の充実

・ルールやマナーなど，当たり前のことが当たり前にできる指導を全校で取り組む。

・スクールカウンセラーを積極的に活用し，児童や保護者への教育相談を充実する。

・配慮を要する児童への共通理解と協力体制を推進する。

・児童理解や学級経営に関する交流会や研修会を充実する。

・名前で声をかけ合うことでつながりを深め，学級学年の枠を越えた児童理解を進める。

・通級指導を有効的に活用し，個に応じた指導を充実させる。

・積極的に関係機関と連携し，問題行動や不登校児童への対応等に工夫して取り組む。

（3）安全で美しい学校

○　きまりの定着

・ルールを守り，誰もが安全で安心な学校生活が送れるよう指導を徹底する。

○　安全で安心な教育環境づくりの推進

・緊急時の防犯体制や震災の教訓を生かした防災教育計画や防災マニュアルを更新する等，危機管理体制を確立する。また，保護者・地域と連携を密にして，安全で安心な学校づくりを積極的に推進する。（学校安全計画の策定・避難訓練の実施・ミマモルメの活用）

○　美しい学校環境づくりの推進

・教師自らが率先して美化清掃指導を推進する。

・校庭を工夫して活用し，栽培活動に取り組む。

（4）地域と共にある学校

○　地域や家庭の教育力を導入した教育活動の推進

・各教科・領域で，地域の人材を導入し，児童の体験活動を充実させる。

・学校行事・図書館・園芸等に保護者や地域のボランティアを導入し，児童と心のふれあいの場とする。

○　学校運営協議会や家庭との連携の推進

・コミュニティー・スクールを導入し，学校運営協議会の協力や意見を教育活動に反映する。

・オープンスクール，学校便り，ホームページなどで，学校の情報を積極的に発信し，課題の共有や教育活動への参画意識の向上を図り，信頼される学校づくりを推進する。

○　近隣の学校園との教育連携の推進

・校種間連携を推進し，相互理解とつながりのある教育活動を推進する。

（幼保小つながり，小中連携，小中一貫教育，小小連携　等）

（5）教師としての使命の自覚と専門性の深化

○　学校研究の充実による指導力の向上

・研究テーマのもと，授業研究を中心とした学校研究に取り組む。

○　教職員組織の活性化

・認め合い支え合い，協働体制がとれる教職員集団の構築を図る。

複数対応の励行　時系列記録の記載　校長・教頭・学年への報告・連絡・相談

・校内や校外での研究会や研修会に積極的に参加し，専門性を高め，資質向上を図る。

・子供に対する理解力，授業力，指導力，学級経営力の向上に努める。

・子供と子供，子供と教師，教師と保護者，教師と教師，それぞれのつながりを大切にする特に保護者の思いに耳を傾ける姿勢を大切にする。

・働き方を見直し，勤務時間の適正化を図り，教材研究や子供に向き合う時間を確保する等効果的な教育活動を推進する。（ノー会議デー，定時退勤日，マイ定時退勤日等の設定等）

・日常的にあいさつを意識化させる。（自分から進んであいさつできる子供を目指す。）